

第2期坂町まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況



令和7年2月

坂町

1. 基本目標

第2期坂町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、4つの基本目標を次のとおり設定しています。また、これらをまたぐ横断的な視点として、「多様な人材の活躍を推進する」、「新しい時代の流れを力にする」の2つを設定しています。

1 坂町への新しい人の流れをつくる

2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

3 坂町に住みたくなる賑わいの創出

4 町民の誰もが安心して暮らすことができる地域をつくる

横断的な視点

1 2
多様な人材の活躍を推進する
新しい時代の流れを力にする

2. 効果検証

基本目標や施策の基本的な方向に設定した数値目標に基づき、町民や外部有識者を含めた評価委員会で、実施した施策・事業の効果を客観的に検証し、その検証結果を踏まえた施策の見直しや総合戦略の改訂を行っていくこととしています。

3. 評価区分

進捗状況を4段階で評価しています。なお、実績値がないため評価できなかったものについては、「実績値なし」と記載しています。

評価区分	基準
順調	実績値が令和6年度の目標値以上
概ね順調	実績値が令和6年度の目標値の80%以上
やや遅れている	実績値が令和6年度の目標値の60%以上
遅れている	実績値が令和6年度の目標値の60%未満
実績値なし	実績値が無いため評価できなかったもの

※実績値は、令和6年12月末時点のものです。

4. 効果検証結果

目標	指標数	順調	概ね順調	やや遅れている	遅れている	実績値なし
基本目標1	5	0	2	0	3	0
基本目標2	6	3	2	0	1	0
基本目標3	5	4	0	0	0	1
基本目標4	5	4	1	0	0	0
横断的な視点1	1	0	1	0	0	0
横断的な視点2	1	1	0	0	0	0
合計	23	12	6	0	4	1

《結果の概要》

23指標中、「順調・概ね順調」が18指標（78.3%）となっており、一定の進捗が図れている。一方で、「やや遅れている・遅れている」が4指標（17.4%）となっている。主な要因は、4指標中、3指標が基本目標1となっており、坂町への新しい人の流れをつくり、転入を増やしていく施策が遅れていることによるものである。

基本目標 1

「坂町への新しい人の流れをつくる」

子育てや介護を支え合える昔ながらの暮らしを提案し、また、本町における住宅問題の解消に取り組むことにより、坂町への新しい人の流れをつくり、転入を増やしていきます。

指 標		基準値 (R1)		目標値 (R7)	
社会増減数		28 人 (H27～R1 累計)		0 人 (R3～R7 累計)	
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	評価区分
目標値	50 人	100 人 (R3～R4 累計)	150 人 (R3～R5 累計)	200 人 (R3～R6 累計)	遅れている
実績値	24 人	49 人	△49 人	△83 人	
進捗状況の分析		転入 732 人、転出 766 人で、△34 人の社会減であった。坂地区では、転入者が減少傾向となっており、△49 人の社会減となった。横浜地区は転入者が令和 5 年に比べ増加したが、転出者も増加傾向となっており、社会動態は 0 人であった。小屋浦地区では転出者が転入者を上回り△10 人の社会減となっている。平成ヶ浜地区では、転入者が増加し、25 人の社会増となった。 令和 2 年から人口が減少傾向となっており、高齢化率も増加傾向となっている。			
今後の取組み		令和 7 年度の目標値を 0 人とし、三世代同居・近居の推奨、空き家の物件情報を適宜、情報発信していくとともに若い世代の人たちに居住地として選択されるよう、坂町の子育て環境等を PR していく。			

《社会増減数の推移》

	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
転 入	636 人	832 人	693 人	765 人	681 人	732 人
転 出	△719 人	△735 人	△669 人	△740 人	△779 人	△766 人
増減数	△83 人	97 人	24 人	25 人	△98 人	△34 人

人口の推移

全体

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
人口	13,070	13,094	13,213	13,071	12,945	12,954	12,889	12,871	12,678	12,536
増減	—	24	119	△142	△126	9	△65	△18	△193	△142
社会動態	—	90	174	△73	△83	97	24	25	△98	△34
転入	—	713	800	733	636	832	693	765	681	732
転出	—	△623	△626	△806	△719	△735	△669	△740	△779	△766
自然動態	—	△50	△44	△48	△38	△94	△54	△38	△96	△95
出生	—	97	99	109	91	87	93	122	77	78
死亡	—	△147	△143	△157	△129	△181	△147	△160	△173	△173
その他 (増減別除等)	—	△16	△11	△21	△5	6	△35	△5	1	△13
高齢化率	29.18%	29.51%	29.54%	29.70%	30.00%	29.67%	29.75%	29.66%	29.81%	29.94%

坂地区

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
人口	6,001	5,996	5,936	5,703	5,655	5,780	5,779	5,817	5,761	5,669
増減	—	△5	△60	△233	△48	125	△1	38	△56	△92
社会動態	—	33	8	△197	△38	87	35	24	△29	△49
転入	—	246	259	171	254	342	255	304	252	226
転出	—	△213	△251	△368	△292	△255	△220	△280	△281	△275
自然動態	—	△28	△26	△13	△22	△25	△26	△11	△23	△37
出生	—	46	34	46	34	37	40	58	45	39
死亡	—	△74	△60	△59	△56	△62	△66	△69	△68	△76
転居・その他	—	△10	△42	△23	12	63	△10	25	△4	△6
高齢化率	26.78%	27.12%	27.73%	28.79%	29.09%	29.15%	30.43%	29.14%	29.18%	29.60%

横浜地区

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
人口	3,626	3,644	3,646	3,619	3,603	3,565	3,518	3,471	3,398	3,334
増減	—	18	2	△27	△16	△38	△47	△47	△73	△64
社会動態	—	33	38	22	17	6	△16	2	△27	0
転入	—	122	129	124	113	118	82	99	78	114
転出	—	△89	△91	△102	△96	△112	△98	△97	△105	△114
自然動態	—	△31	△33	△35	△35	△53	△33	△36	△49	△58
出生	—	20	19	19	17	17	15	23	13	9
死亡	—	△51	△52	△54	△52	△70	△48	△59	△62	△67
転居・その他	—	16	△3	△14	2	9	2	△13	3	△6
高齢化率	38.69%	37.62%	37.90%	38.05%	40.38%	39.97%	38.18%	38.00%	38.40%	38.39%

小戸地区

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
人口	1,890	1,877	1,833	1,733	1,663	1,603	1,585	1,546	1,526	1,497
増減	—	△13	△44	△100	△70	△60	△18	△39	△20	△29
社会動態	—	7	△10	△38	△37	△10	17	△17	0	△10
転入	—	56	47	39	36	114	97	105	162	126
転出	—	△49	△57	△77	△73	△124	△80	△122	△162	△136
自然動態	—	△13	△15	△33	△12	△32	△19	△20	△29	△12
出生	—	7	10	4	6	6	10	8	6	11
死亡	—	△20	△25	△37	△18	△38	△29	△28	△35	△23
転居・その他	—	△7	△19	△29	△21	△18	△16	△2	9	△7
高齢化率	38.36%	39.53%	40.26%	40.51%	41.07%	40.17%	40.25%	40.69%	40.30%	40.28%

平成ヶ浜地区

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
人口	1,553	1,577	1,798	2,016	2,024	2,006	2,007	2,037	1,993	2,036
増減	—	24	221	218	8	△18	1	30	△44	43
社会動態	—	17	138	140	△25	14	△12	16	△42	25
転入	—	289	365	399	233	258	259	257	189	266
転出	—	△272	△227	△259	△258	△244	△271	△241	△231	△241
自然動態	—	22	30	33	31	16	24	29	5	12
出生	—	24	36	40	34	27	28	33	13	19
死亡	—	△2	△6	△7	△3	△11	△4	△4	△8	△7
転居・その他	—	△15	53	45	2	△48	△11	△15	△7	6
高齢化率	7.86%	7.93%	7.62%	7.99%	8.94%	8.08%	8.57%	8.54%	8.93%	9.43%

施策 1-1 三世代同居・近居の推奨

施策の基本的な方向		三世代同居・近居の推奨			
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名		基準値 (R1)		目標値 (R7)
	三世代同居・近居住宅 支援事業利用件数		70 件 (H27～R1 累計)		60 件 (R3～R7 累計)
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	評価区分
目標値	15 件	30 件 (R3～R4 累計)	45 件 (R3～R5 累計)	60 件 (R3～R6 累計)	遅れている
実績値	10 件	19 件	28 件	35 件	
進捗状況の分析		広報紙や坂町ホームページ、公式 LINE 等で、制度について情報発信を実施したが、令和 2 年度以降、申請件数が減少傾向である。特に町外からの申請件数が減少しており、町外から坂町への人の流れをつくりだすための工夫が必要である。			
今後の取組み		令和 6 年度末までに目標値 60 件を達する見込みがないため、令和 7 年度の目標値も 60 件とし、引き続き、住宅取得予定者や町内外の不動産業者に対し、制度周知を図るとともに、移住フェアやイベント等で制度に関するパンフレットを配布し、制度の周知に努める。			

《申請件数》

	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
町外からの転入	13 件	5 件	6 件	4 件	3 件
町内での転居	6 件	5 件	3 件	5 件	4 件
合計	19 件	10 件	9 件	9 件	7 件

施策 1-2 小屋浦地区の定住促進

施策の基本的な方向		小屋浦地区の定住促進			
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名		基準値 (R1)		目標値 (R7)
	小屋浦地区社会増減数		△67 人 (H27～R1 累計)		10 人 (R3～R7 累計)
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	評価区分
目標値	20 人	40 人 (R3～R4 累計)	60 人 (R3～R5 累計)	80 人 (R3～R6 累計)	遅れている
実績値	17 人	0 人	0 人	△10 人	
進捗状況の分析		転入 126 人、転出 136 人で、社会動態は△10 人であった。現在、町有住宅の建替及び商業機能等の誘致に向けた基本構想を策定中である。社会増減は、マイナスとなっているが、小屋浦地区の人口増に向け、着実に事業を進めている。			
今後の取組み		令和 7 年度は、令和 6 年度に策定する基本構想を基に、小屋浦地区の賑わい創出及び人口増に向け、坂町有住宅用地及び小屋浦一丁目地内の土地を活用した再開発に取り組む。令和 7 年度は、社会増 10 人を目指す。			

《小屋浦地区の社会増減数の推移》

	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
転 入	36 人	114 人	97 人	105 人	162 人	126 人
転 出	△73 人	△124 人	△80 人	122 人	162 人	136 人
増減数	△37 人	△10 人	17 人	△17 人	0 人	△10 人

施策 1-3 移住定住の促進

施策の基本的な方向		移住定住の促進			
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名		基準値 (R1)		目標値 (R7)
	町外在住者からの移住 定住相談件数		45 件 (年間)		60 件 (年間)
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	評価区分
目標値	50 件	50 件	50 件	60 件	概ね順調
実績値	33 件	55 件	55 件	57 件	
進捗状況の分析		令和 6 年 12 月末現在、目標値には達していないが、相談件数は増加している。			
今後の取組み		移住フェアへ継続して参加するとともに、移住・定住に関する情報を定期的に情報発信していく。令和 7 年度も相談件数 60 件を目指す。			

《移住フェア（場所：東京交通会館）》

令和 6 年 9 月 7 日（土）	11 件
令和 6 年 11 月 24 日（日）	15 件
合 計	26 件



施策 1-4 空き家の利活用

施策の基本的な方向		空き家の利活用			
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名		基準値 (R1)		目標値 (R7)
	空き家利活用数		128 件 (H27～R1 累計)		100 件 (R3～R7 累計)
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	評価区分
目標値	10 件	40 件 (R3～R4 累計)	60 件 (R3～R5 累計)	80 件 (R3～R6 累計)	概ね順調
実績値	26 件	46 件	61 件	73 件	
進捗状況の分析		令和 6 年 12 月末現在、目標値には達していないが、概ね順調に空き家の解消は進んでいる。			
今後の取組み		令和 7 年度の目標値を 100 件とし、空き家の所有者に対し、きめ細かな対応を行うとともに、空き家の利活用について、積極的に情報発信を行っていく。			

基本目標 2

「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

安心して子どもを産み、育てる環境の整備を図り、さらに、教育環境の充実に取り組みながら、子育て世代の希望をかなえ、少子化に歯止めをかけます。

指 標			基準値（R1）		目標値（R7）	
保育園・こども園 留守家庭児童会待機児童			0 人		0 人	
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	評価区分	
目標値	0 人	0 人	0 人	0 人	順調	
実績値	0 人	0 人	0 人	0 人		
進捗状況の分析		【保育園・こども園】 待機児童を出すことなく保育の運営ができています。 【留守家庭児童会】 目標値の待機児童 0 人を維持しながら、安定した児童会の運営ができています。				
今後の取組み		待機児童 0 人を継続していく。				

施策 2-1 出生数の増加

施策の基本的な方向		出生数の増加			
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名		基準値 (R1)		目標値 (R7)
	不妊検査費・一般不妊 治療費助成事業利用 件数		11 件 (H27～R1 累計)		10 件 (R3～R7 累計)
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	評価区分
目標値	3 件	7 件 (R3～R4 累計)	11 件 (R3～R5 累計)	16 件 (R3～R6 累計)	遅れている
実績値	2 件	5 件	7 件	8 件	
進捗状況の分析		令和 6 年 12 月末時点の利用件数の累計は、8 件となっており、目標値を達成することができなかった。令和 4 年度より、不妊治療が保険適用になり、自己負担額が軽減されたことも一因であると考えられる。			
今後の取組み		令和 7 年度の目標値を 10 件とし、引き続き助成事業の広報に努める。			

施策 2-2 子育てしやすい環境の整備

施策の基本的な方向		子育てしやすい環境の整備			
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名			基準値 (R1)	目標値 (R7)
	子育て世帯における子育て支援の満足度			47.5%	90%
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	評価区分
目標値	—	—	—	55.0%	順調
実績値	—	—	—	88.3%	
進捗状況の分析		「坂町こども家庭センター」において、福祉の専門職が、子育て世帯や妊産婦等から不安や困りごとに関する支援を行っている。			
今後の取組み		令和 7 年度の目標値を 90%とし、今後も継続して、子育て世帯や妊産婦等の支援を行うとともに、第 4 期坂町子ども・子育て支援事業計画にて子育て支援に関する情報収集やニーズを把握し、満足度の更なる向上に努める。			

施策 2-3 「確かな学力」の育成

施策の基本的な方向		「確かな学力」の育成			
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名		基準値 (R1)		目標値 (R7)
	「全国学力・学習状況調査」結果の全国平均値との比較		<小学6年> 差 国語 +5 算数 +6 <中学3年> 差 国語 △3 数学 △2 (単位:ポイント)		全国平均値比較 +5 ポイント以上 (毎年度)
年度	R3	R4	R5	R6	評価区分
目標値	+5ポイント	+5ポイント	+5ポイント	+5ポイント	概ね順調
実績値	【小学6年】 国 +10.3 算 +6.8 【中学3年】 国 +3.4 数 +4.8	【小学6年】 国 +4.4 算 +4.8 【中学3年】 国 +6.0 数 +8.6	【小学6年】 国 +7.8 算 +7.5 【中学3年】 国 +6.2 数 +12.0	【小学6年】 国 +3.3 算 +1.6 【中学3年】 国 +6.9 数 +16.5	
進捗状況の分析		中学校は目標値を大きく上回っているが、小学校は、国語 1.7 ポイント、算数 3.4 ポイントと目標値を下回っている。正答率 40%未満の児童の割合が多く、個に応じた指導のさらなる充実が必要であることが分かった。			
今後の取組		令和7年度も全国平均値比較+5 ポイント以上を目指し、引き続き、一人一人の課題や取組方針等を明確にしながら、積極的な授業改善及び個に応じたきめ細かな指導を行う。			

施策 2-4 健やかな体の育成

施策の基本的な方向		2－（４）健やかな体の育成			
重要業績 評価指標 （KPI）	指標名	基準値（R3）		目標値（R7）	
	「新体力テスト」体力合計点の全国平均値との比較	<小学５年> 差 男子 +0.22 女子 +0.91 <中学２年> 差 男子 +2.17 女子 +1.51 (単位：ポイント)		全国平均値比較 +3ポイント以上 (毎年度)	
年度	R3	R4	R5	R6	評価区分
目標値	+3ポイント	+3ポイント	+3ポイント	+3ポイント	順調
実績値	【小学５年】 男子 +0.22 女子 +0.91 【中学２年】 男子 +2.17 女子 +1.51	【小学５年】 男子 +0.36 女子 +0.98 【中学２年】 男子 -2.22 女子 -3.97	【小学５年】 男子 +1.87 女子 +1.56 【中学２年】 男子 +11.09 女子 +6.52	【小学５年】 男子 +3.47 女子 +5.12 【中学２年】 男子 +4.95 女子 +4.46	
進捗状況の分析		小学校・中学校ともに、目標値を上回ることができた。各校の課題に応じた体育科の授業改善や、中学校での部活動等の取組が、体力向上につながったと考えられる。			
今後の取組		令和７年度も全国平均値比較+3ポイント以上を目指し、引き続き、体育科における授業改善や部活動等を通して体力の向上を図るとともに、授業改善の工夫等を小学校・中学校間で共有する。また、日常的に運動に親しめるような工夫を行い、運動の機会を増やしていく。			

施策 2-5 家族愛・郷土愛の醸成

施策の基本的な方向		家族愛・郷土愛の醸成			
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名			基準値 (R1)	目標値 (R7)
	家族愛・郷土愛に関するアンケート調査 各種行事に対する満足度調査			—	肯定的な回答の割合 95%以上
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	評価区分
目標値	80%	80%	80%	95%	概ね順調
実績値	94%	90%	90%	90%	
進捗状況の分析		「ようよう坂町ウォーキング」などの行事や坂町文化祭での史跡案内コーナーなどで、行事の満足度、坂町の歴史等への関心度に関するアンケート調査を行ったところ 90%の方が肯定的な回答であった。			
今後の取組み		令和7年度の目標値を肯定的な回答の割合 95%以上とし、坂町への関心度・満足度を高めるために適宜改善等も行いながら、各種行事を継続的に開催していく。			

基本目標 3

「坂町に住みたくなる賑わいの創出」

本町の観光資源と地域資源を最大限に活用して賑わいを創出するとともに、効果的な魅力発信に取り組み、将来的な移住につながるよう、関係人口の増加を目指します。

指 標		基準値 (R1)		目標値 (R7)	
観光客数		286,000 人		620,000 人	
年度	R3	R4	R5	R6	評価区分
目標値	293,000 人	297,000 人	301,000 人	550,000 人	順調
実績値	193,160 人	253,010 人	512,266 人	607,273 人	
進捗状況の分析		令和 5 年 7 月よりベイサイドビーチ坂の駐車料を海水浴期間限定から、年間を通しての徴収に変更したことに伴い、海水浴期間以外の観光客数を把握できるようになった。これにより、令和 6 年度からは全期間で入庫車台数が把握できるようになったため観光客数が増加した。			
今後の取組み		令和 7 年度の目標値を 620,000 人とし、引き続きイベント等を実施するなど、更なる観光客の増加を目指す。			

施策 3-1 ベイサイドビーチ坂の賑わい創出

施策の基本的な方向		ベイサイドビーチ坂の賑わい創出			
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名		基準値 (H27～R1 の平均)		目標値 (R7)
	ベイサイドビーチ坂への来 場者数		39,822 人 (H27～R1 の平均) ※H30 は、豪雨 災害による施設 利用停止のため 除く。		350,000 人 (年間)
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	評価区分
目標値	46,000 人	50,000 人	54,000 人	250,000 人	順調
実績値	20,257 人	30,631 人	239,261 人	336,505 人	
進捗状況の分析		令和 5 年 7 月よりベイサイドビーチ坂の駐車料を海水浴期 間限定から、年間を通しての徴収に変更したことに伴い、 海水浴期間以外の観光客数を把握できるようになった。 これにより、令和 6 年度からは全期間で入庫台数が把握 できるようになったため観光客数が増加した。 また、令和 6 年 6 月には飲食棟に Aloha café Pineapple が出店したほか、昨年度に引き続き、地域おこし協力隊 員による SUP 体験会等を開催するなど、ベイサイドビー チ坂の賑わい創出に取り組んでいる。			
今後の取組み		令和 7 年度の目標値を 350,000 人とし、引き続き、ベイサ イドビーチ坂でのイベントの実施や、物販施設等を活用 し、更なる賑わい創出を図る。			

施策 3-2 悠々健康ウォーキングのまちの推進

施策の基本的な方向		悠々健康ウォーキングのまちの推進			
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名		基準値 (H27～H30 平均)		目標値 (R7)
	悠々健康ウォーキング大会 参加者数		1, 179 人 (H27～H30 平均)		1, 200 人 (1 大会当り)
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	評価区分
目標値	1, 200 人	1, 200 人	1, 200 人	1, 200 人	実績値なし
実績値	—	—	583 人	—	
進捗状況の分析		令和 7 年 3 月 23 日（日）の開催を目指し、12 月から募集を開始した。現在、目標値達成に向け、広報活動を進めている。また、今年度から参加者数の向上を図るため、インターネットによる参加申込の受付を開始した。			
今後の取組み		令和 7 年度も参加者数 1, 200 人を目指し、引き続き広報活動を行っていく。			

施策 3-3 特産品の研究・開発

施策の基本的な方向		3－（３）特産品の研究・開発			
重要業績 評価指標 （KPI）	指標名		基準値（R1）		目標値（R7）
	新たな特産品の開発数		1 件 （H27～R1 累計）		1 件 （R3～R7 累計）
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	評価区分
目標値	令和 6 年度までに 1 件				順調
実績値	0 件	0 件	1 件	0 件	
進捗状況の分析		令和 5 年度に坂うめじろう饅頭が完成し、令和 6 年 5 月下旬から販売を開始した。特産品フェア等のイベントや公共施設、スーパー、飲食店等でも販売したことにより、令和 6 年 12 月末時点で、約 10,550 個が売れており、町内外の多くの方に坂町を PR することができた。			
今後の取組み		令和 7 年度は、現行の特産品の PR を強化するとともに、「芸州坂うどん」の販路拡大を行い、更なる坂町の PR 強化に努める。			

施策 3-4 自慢したい地域資源等についての情報発信

施策の基本的な方向		自慢したい地域資源等についての情報発信			
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名			基準値 (R1)	目標値 (R7)
	坂町ホームページのアクセス 件数 (月平均)			17,462 件	29,000 件
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	評価区分
目標値	20,000 件	20,000 件	20,000 件	26,000 件	順調
実績値	29,565 件	25,497 件	27,605 件	28,978 件	
進捗状況の分析		イベント情報や避難情報等を適宜、情報発信した。 また、坂町が運用する各種 SNS（坂町公式 LINE 等） からホームページへの導線をつくることで、順調に アクセス数が増加し、令和 5 年度と比較すると 1,373 件増加した。			
今後の取組み		令和 7 年度の目標値を 29,000 件とし、今後も必要 な情報を必要な時に迅速に情報発信していくとともに、 町の魅力発信の強化に、より一層取り組んでいく。			

《よく見られているページ》

順位	ページ名	割合
1 位	トップページ	9.78%
2 位	ベイサイドビーチ坂について	4.32%
3 位	空き家バンク	4.24%
4 位	入札・契約	2.47%
5 位	広島ベイマラソン大会	2.00%

基本目標 4

「町民の誰もが安心して暮らすことができる地域をつくる」

住み続けたいと思える地域をつくるために、質の高い暮らしを目指すとともに、町民の誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、健康づくりを推進します。

また、地域における防災・減災への取組による災害に強いまちづくりを進めます。

指 標			基準値（H29）		目標値（R7）	
健康寿命の延伸			男性 79.88 歳 女性 84.53 歳		健康寿命の全国平均を上回り、且つ延伸を続ける。	
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	評価区分	
目標値	（国：R 元） 男性 72.68 歳 女性 75.38 歳	（国：R 元） 男性 72.68 歳 女性 75.38 歳	（国：R 元） 男性 72.68 歳 女性 75.38 歳	（国：R4） 男性 72.57 歳 女性 75.45 歳	順調	
実績値	（H30） 男性 79.89 歳 女性 84.98 歳	（R 元） 男性 79.45 歳 女性 84.42 歳	（R2） 男性 79.29 歳 女性 84.85 歳	（R3） 男性 79.54 歳 女性 85.14 歳		
進捗状況の分析			全国平均を上回っており、R 2 年と R 3 年の実績値を比較して、男性、女性とも若干長くなっている。			
今後の取組み			引き続き、住民へ保健事業、介護予防事業への参加を呼びかける。			

施策 4-1 生活道路の整備

施策の基本的な方向		生活道路の整備			
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名		基準値 (R1)		目標値 (R7)
	都市防災総合推進事業整備 延長(幅員 4.0m以上にする 町道整備) L=1,814m (坂 西環状線他)		整備済区間 343m/1,144m		整備済区間 1,398m/1,814m
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	評価区分
目標値	—	—	59.4%	73.2%	概ね順調
実績値	48.0%	51.8%	53.5%	63.7%	
進捗状況の分析		用地取得が整った区間から工事を進め、令和 6 年度 は、整備延長 185mが完成した。			
今後の取組み		令和 7 年度は、整備済区間を令和 6 年度目標値 1,328m から 70m 延長し、1,398m を目指す。 引き続き、計画の設計を進め、用地取得の進捗に努 め、工事着手が可能となる区間の拡大を図る。			

施策 4-2 保健・福祉の拠点整備

施策の基本的な方向		保健・福祉の拠点整備			
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名		基準値 (R1)		目標値 (R7)
	保健・福祉の総合相談窓口の 整備 (R4～R5) 個別支援プラン作成件数 (R6)		—		15 件
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	評価区分
目標値	—	30%	100%	10 件	順調
実績値	—	30%	100%	10 件	
進捗状況の分析		令和 6 年度に役場庁舎 1 階に新たに保健・福祉総合相談室を開設し、地域住民の抱える困りごとや悩みの解決に向けて、庁内、関係機関等と連携して取り組むことができている。			
今後の取組み		令和 7 年度の目標値を 15 件とし、関係機関等とのネットワークを強化・構築し、更なるサービスの向上に努める。			

施策 4-3 安全で安心に暮らせるまちづくり

施策の基本的な方向		河川監視カメラの設置			
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名			基準値 (R1)	目標値 (R7)
	河川監視カメラの設置数			0 箇所	7 箇所
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	評価区分
目標値	6 箇所	7 箇所 (R3～R4 累計)	7 箇所 (R3～R5 累計)	7 箇所 (R3～R6 累計)	順調
実績値	6 箇所	7 箇所	7 箇所	7 箇所	
進捗状況の分析		令和 4 年度に河川監視カメラの設置完了。 坂町ホームページ及び坂町公式 LINE を通じて、いつでも河川の状況を閲覧できる。			
今後の取組み		町の防災・減災活動に活用するとともに、町民の早期の避難行動につなげるなど地域防災力向上に役立てていただけるよう、引き続き広報等を行っていく。			

施策 4-4 周辺市町との連携によるサービス向上

施策の基本的な方向		周辺市町との連携によるサービス向上			
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名		基準値 (R1)		目標値 (R7)
	連携中枢都市圏制度における 連携事業数		59 件		18 件 (R3～R7 累計)
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	評価区分
目標値	7 件	3 件	3 件	3 件	順調
実績値	7 件	3 件	2 件	3 件	
進捗状況の分析		令和 6 年度は、外国住民にも伝わりやすい「やさしい日本語」についての職員研修、公共交通の利用促進及び地域コミュニティの活性化を図るための公共交通を利用した交流促進事業、魅力発信を強化するための広島版図柄入りナンバープレート普及促進事業の 3 事業を新たに連携し、目標値を達成することができた。			
今後の取組み		令和 7 年度は令和 6 年度目標値 16 件から 2 件増やし、18 件を目指す。生活に密着した連携事業を増やし、町民の生活の利便性を高めるよう努めるとともに、広報紙等で事業について周知していく。			

横断的視点 1 多様な人材の活躍を推進する

横断的な視点 1-1 多様な人材の活躍の推進

施策の基本的な方向		横断的視点 1－（１）多様な人材の活躍の推進			
重要業績 評価指標 （KPI）	指標名			基準値（R1）	目標値（R7）
	審議会等委員のうち女性委員 の占める割合			24.7%	35.0%
年度	R3	R4	R5	R6	評価区分
目標値	29.0%	29.0%	30.0%	35.0%	概ね順調
実績値	29.7%	26.4%	28.0%	30.4%	
進捗状況の分析		審議会等の数：43			
		審議会等委員総数：306 人、うち女性委員：93 人 （令和 5 年度の女性委員）86 人 <u>（令和 6 年度の女性委員）93 人</u> 7 人 ※令和 5 年度の審議会等委員総数は、307 人。			
今後の取組み		令和 7 年度の目標値を 35.0%とし、充て職の委員が多いため、庁舎内での働きかけだけではなく、地域住民にも、男女共同参画についての啓発活動を行っていく。			

横断的視点 2 新しい時代の流れを力にする

横断的な視点 2-1 新しい生活様式への対応

施策の基本的な方向		横断的視点 2－（１）新しい生活様式への対応			
重要業績 評価指標 (KPI)	指標名			基準値（R1）	目標値（R7）
	マイナンバーカードの取得率			16.4%	94%
年度	R 3	R 4	R 5	R 6	評価区分
目標値	60%	70%	75%	90%	順調
実績値	47.6%	77.0%	87.2%	92.7%	
進捗状況の分析		マイナ保険証等、マイナンバーカードの付加価値が上がってきたことにより、取得率が増加したものと思われる。			
今後の取組み		令和 7 年度は 94%を目指し、継続して申請者等にマイナンバーカードに対する問い合わせに丁寧に対応し、取得率の更なる向上を目指す。			